

(8月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
なし類		8,750	100	9,691	348	88	300	11	0.1	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は露地ものが8月上旬より入荷。前年より着果数が多く、全般的に小玉傾向。作柄は雹害のあった昨年に比べ3割の増と見込まれる。 栃木産は上・中旬がハウスものが出回り、20日以降露地もの出荷が始まる予定。入荷量は豊作だった昨年に比べ1割減少。 福岡産も7月でハウスが終了し、8月上旬から露地もの出荷が始まる。ハウスのピークは10前後で盆前には出荷終了。 全体の入荷量は前年並み、価格は前年のような品薄感がなく安値基調となり、前年を下回る見込み。
すいか類		10,872	100	11,339	176	90	136	4,601	42.3	<ul style="list-style-type: none"> 山形産は5月の低温、6月の干ばつの影響で入荷は前年を下回る見込み。小玉傾向ではあるが食味は良好。 長野産は作柄良好で、玉伸びも良いことから入荷量は前年を1割上回る見込み。 全体の入荷量は山形産が前年を下回るものの、長野産の作柄よく、前年並みの入荷、価格は高値だった前年を下回るものの平年を上回る見込み。
もも		5,557	120	6,224	445	87	393	448	8.1	<ul style="list-style-type: none"> 福島、山梨産中心の入荷。8月は山梨から福島への切り替わり時期。 福島産は作柄順調で、玉伸びも良い。入荷量は不作だった昨年の2割増となる見込み。 山梨も玉伸び良く、入荷は前年比1割の増となる見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年に比べ引き合い弱く、荷動きも悪いことから前年を下回る見込み。
ぶどう類		3,320	100	3,606	681	93	598	1,065	32.1	<ul style="list-style-type: none"> 大粒種は山梨、長野中心の入荷。ハウス、露地もの切り替わり時期となる。 岡山産のアレキサンドリアは作柄順調ながら作付けが1割減少。入荷量も1割減となる見込み。食味は良好。 山梨産のピオーネは露地ものが8月上旬より始まる。作柄よく、玉伸びも順調。入荷は前年並み。 入荷量は前年並み、価格は前年を下回る見込み。

ぶどう(デラウエア)	1,341	98	1,414	488	94	437	1,038	77.4	<ul style="list-style-type: none"> ・山形、山梨産中心の入荷。主力の山形産は糖度も高く高品質の仕上がり、玉張りは平年レベル。入荷量は豊作だった前年をやや下回る見込み。 ・山梨産も品質良く、大房の仕上がり。気温が高く着色は遅れ気味となっているが、作柄良好で順調な入荷と見込まれる。 ・価格は7月に比べ下げ気味の相場となるが、旧盆等のバック需要が増えることから、単価高の全年よりは安いが、平年に比べ堅調に推移する見込み。
りんご(つがる)	1,031	102	1,123	330	100	329	380	36.9	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨産が8月上旬から入荷予定。長野産が中旬から入荷予定。下旬には山形産の入荷となる。 ・入荷量は各産地とも生育順調で前年を上回る見込み。価格はシーズン初めで引き合い強く、高値だった前年並みの見込み。
みかん類	1,355	95	1,621	819	95	728	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀、大分、愛知産中心の入荷となる。ハウスみかんは原油高の影響により、グリーンハウスへの移行も多く、入荷は前年を下回る見込み。 ・価格は入荷は少ないが消費者の購買意欲が鈍く、前年を下回る見込み。